

# 校長室から 第24号

## 本校の開校はいつなのか？ ～その7～

村上氏と小川氏についての記述から、話を元に戻して、少し整理をします。『學報』の「学校の歴史を語る座談会」の「学校創立当時の状況」から、3つのことが判りました。①本校は上興部第一教育所として明治41年に開校したこと、②学校の沿革誌では開校は明治42年1月となっていること、③沿革誌が村上校長時代に初めて作られたこと、です。①については、出席者5人の発言から明らかです。②と③について、あらためて調べ直しました。

本校の金庫には沿革誌（先述の『沿革史分冊（附図・附表）』以外に）が2冊あります。

1冊は、B5版で表紙に墨で『大正十二年七月調製 学校沿革並現勢誌 瀬戸牛尋常小学校』（以下『学校沿革並現勢誌』）と書かれています。1923（大正12）年7月は、第3代校長村上久吉氏が着任した5ヶ月後です。③沿革誌（『学校沿革並現勢誌』）が村上校長時代に初めて作られたことが明らかになりました。

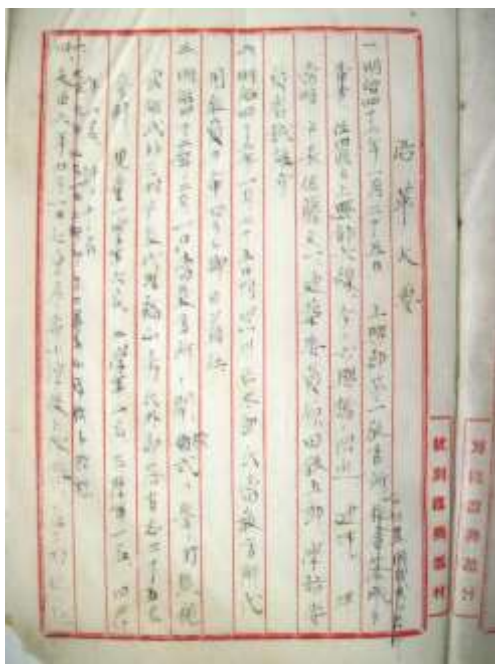
『学校沿革並現勢誌』を開いて沿革大要を見てみましょう。

一、明治四十二年一月二十五日 上興部第一教育所ヲ設置、位置＝上興部六線、今ノ六興橋ノ附近、建坪、坪、當時ノ戸長佐藤文一、建築委員原田鉄五郎、學務委員岩越雄介

二、明治四十二年一月二十五日附黒川正太郎氏當教育所代用教員ヲ命ゼラレ即日着任

三、明治四十二年二月一日 當教育所ノ開校式ヲ挙行、監視官雄武外三村戸長代理福山秀氏外部有志二十五名参列、児童一學年六名、二學年二名、三學年一名、四學年一名、計十名

（「紋別郡興部村」の罫紙を使用しています。大要は大正15年7月1日で終わっています。）



### 沿革大要

ことが記念式後の古老や有志の座談会で実証されたので、政井氏が沿革誌を修正しました。



『学校沿革並現勢誌』

②学校の沿革誌（『学校沿革並現勢誌』）では開校は明治42年1月となっていることが明らかになりました。

途中ではありますが、ここで一度、筆者の見解をまとめてみます。「本校は、上興部第一教育所として1908（明治41）年1月25日に開校し、5日後の同年2月1日に開校式を挙行した。学校沿革誌『学校沿革並現勢誌』は、第3代校長村上久吉氏によって1923（大正12）年7月に初めて作られた。村上氏が着任した当時の本校は非常な混乱の中にあり、村上氏が開校年月日を1年間違えて、『学校沿革並現勢誌』に記載してしまった。『学校沿革並現勢誌』を基に、第5代校長政井三郎氏が1934（昭和9）年10月29日には開校25周年記念式を挙行した。開校25周年を記念して1935（昭和10）年2月16日、古老や有志による「学校の歴史を語る座談会」を行った際に本校の開校が実は1908（明治41）年1月だったということが明らかになった。」のです。そして、開校は明治四十一年が正当である